

## SPECIAL LECTURE

カルチャーショックで気づき、学び

## 「自分らしく生きる」

元フジテレビアナウンサー

## 河野景子

この・けいこ 宮崎県出身。上智大学フランス語学科卒。1988年アナウンサーとしてフジテレビに入社。「FNNワールドアップリンク」のキャスターなどを担当。2016年、株式会社ル・クールを設立、代表取締役役に就任。「河野景子のことばのアカデミー」を開校して、校長を務める。講演、イベント司会、メディア出演、朗読会などでも活躍中。

## 私を支えた「家族の音」

アナウンサーになりたいと思ったのは小学校5年生でした。きっかけは、当時続々とスタートした海外の情報を伝えるテレビ番組でした。海外へ行ってみたい、知らない国で知らない人々と話をする仕事がしてみたいと思うようになって、アナウンサーになる夢を抱きました。そして、その夢が私の人生をずっと導くこととなります。

高校2年生、16歳の時に米国ニューヨーク州の片田舎、日本人のまったくいない小さな町に一年間留学することを決めました。日本の家族との連絡はエメールと国際電話しかない時代です。

ある時、家族からプレゼントが届きました。父からは本が、ストレスで太ったと手紙で書き送ったからでしょう、母からはたくさんの服が送られてきました。

そして、妹からのプレゼントは歌番組を録音したカセットテープでした。その歌声が懐かしくて繰り返し聞くうちに、私は歌ではない音に集中していました。歌と歌の間に漏れ聞こえる「家族の音」です。父がリンゴを頬張る音、リンゴを剥きながら何かを話している母の声がかすかに聞こえるのです。

「録音してるんだから静かにして」

テレビのスピーカーの前にラジカセを置いて

録音しているのでしょうか。妹の声もしっかりと聞こえました。

気がつく、家族の音を必死に探している自分がいて、涙がぼろぼろこぼれていました。こうして頑張れるのは宮崎の家族がいるからなんだ、という大きな気づきでした。そのことが留学中も、大学へ進学してからも、夢だったアナウンサーになってからも、カルチャーショックを受けるたびに私を支え続けました。

## 様々な学びをいただいて

夢焦がれたアナウンサーになりました。ところが、実際にマイクを持ってカメラの前に立つ喜びはほんの束の間で、落ち込んで自己嫌悪する毎日が続きました。涙を流してベッドに入っても、翌日にはまた笑顔でカメラの前に立たなければなりません。その繰り返しの中で、少しずつ自分を鼓舞する術を学びました。

一度涙を流したら引きずらない。人前では泣かない。落ち込んでいるそぶりをみせない。これが私のリスタートの術です。

出会った人からも様々な学びをいただきました。パリに駐在中、ソフィー・マルソーさんをインタビューする機会がありました。彼女のそばに座るととてもいい香りがします。「香水は何を」と尋ねると、きっと教えなくなかったのでしょう。彼女の答えが粋でした。

「あなたがずっと覚えていてくれるように、香水はミステリアスにさせて」

私は悩殺されました。もし、すべてを知ってしまったらどうだったでしょうか。あれから長い時間が経ちましたが、あのときの彼女の表情と香りが今もよみがえってきます。彼女から心をつかむ答え方、粋な大人のあしらい方を学びました。

オードリー・ヘップバーンさんもインタビューしました。緊張し過ぎていたのか、そのときのことは覚えていません。でも、彼女から離れてこっそり、フィルムがなくなるまで夢中で撮影

していました。現像すると、写っているすべての彼女がきれいなのです。目が半開きでも、つぶっけていても全部です。

なぜだろう。秘密は口元でした。彼女はどの瞬間も、口角がきゅっと上がっています。写真には、名作映画『ローマの休日』のアン王女の口元がありました。

彼女は自分をよく知っていて、人からどう見られるべきかということ、セルフコントロールしていたのだと思います。

## きらきら輝く人生の意味

40、50代の皆さんは自分のこれからをどう考えていますか。人生のゴールをどう定めたいですか。考え方は一人一人違うはずですが、自分のことにはなかなか気づけないものです。そんな時にはこう自問自答してください。

どんな時の自分が好きだろう。影響を受けた人は誰だろう。思いつかなければ、これまで出会った人の中で「この人は素敵だなあ、この人みたいになりたいなあ」と思った人のことを思い出してください。そこに必ずヒントが隠れています。

私は、文学者の中西進先生に日本語の奥深さについて学び、先生からとても素敵なことを教わりました。

あるとき、輝くとはどんなイメージですかと問われたので、キラキラですと答えました。すると、先生はこうおっしゃいました。

「キラキラとは明滅している様子ですね。光と影があるからこそ、光はより輝かしくなって際立つのです」

人生も同じで、山あり谷ありだからこそ輝かしいものになるのだと教わりました。人は誰でもキラキラと輝くような人生を送りたいと思っています。私たちはそれぞれが求めるゴールを自分で定めて進めばいい。そこには困難もありますが、乗り越えるからこそ人生は輝きます。それが自分らしく生きることだと思っています。

